

報告事項1

第4回徳島県教育振興審議会について

教育創生課

## 第4回徳島県教育振興審議会 会議概要

- 1 日 時 平成29年10月23日(月) 午後3時から午後5時まで
- 2 場 所 徳島県庁 10階 大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 23名中 16名出席
  - (2) 県 教育長及び教育振興計画策定検討会議会員の29名出席
- 4 内 容 「徳島県教育振興計画(第3期)」中間取りまとめ(案)について
- 5 審議会委員から出された主な意見(「徳島教育大綱」の3つの重点項目別に整理)

### (1) 重点項目Ⅰ 地方創生から日本創成へ! 「徳島ならではの」教育の推進

- ・教育におけるICTの活用に関連して、ビッグデータ等の活用が加筆された。ビッグデータのデータ解析を活用すると、子どもの学習上のつまずきに対して、その子の不得意分野に応じた効果的な学習が可能となる。こうした「個に応じた学習」を推進していただきたい。(中間取りまとめp.38)
- ・「次代を生きぬくキャリア教育の推進」に加筆された記述、及び巻末の「用語解説」における「キャリア教育」の説明により、教員は、小学校段階からどのような意識を持ってキャリア教育に取り組むべきか明確になった。(中間取りまとめp.40,79)
- ・先日、本県発の取組であるデュアルスクールが、全国知事会主催によるコンテストにおいて先進政策大賞を受賞した。この取組は、当該家族にとって有意義であると同時に、美波町では、児童受入を契機に、20数年ぶりに子ども神輿が復活した。東京からやって来た1人の子どもが、地方創生、地域活性化に与えたインパクトは絶大であった。引き続き、情報発信に努めていただきたい。(中間取りまとめp.42)

### (2) 重点項目Ⅱ 一人ひとりが輝く! 徳島の未来を育む教育の推進

- ・「質の高い幼児教育の推進」に、幼・小・中学校教員の相互交流や幼児期と児童期の円滑な接続について加筆していただいた。この記載を目にする教職員一人ひとりが改めてその重要性を意識するようになり、具体的な取組につながるものと思う。(中間取りまとめp.48)
- ・「生命・絆の大切さに関する教育の推進」における「今後の取組」は、いじめや道徳教育、高齢者支援に関する内容となっている。少子化や、子どもへの虐待等が社会問題となっている今日、子どもを生み育てることの意義、子どもや家庭の大切さについて理解を深める取組を盛り込む必要がある。(中間取りまとめp.48)

- ・保護者は、いじめの問題について非常に高い関心を示す。「教育相談体制の充実」として、「校長の強力なリーダーシップのもと」であるとか、自殺予防に向けた取組について加筆いただいたことは、保護者に安心感を与えるものであり、有意義である。  
(中間取りまとめp. 49)
- ・「スクールソーシャルワーカーの拡充」が明記されている。「用語解説」にも説明されているが、その細かい支援は、生徒指導上、非常に効果的であるので、ぜひ拡充に努めていただきたい。(中間取りまとめp. 49, 80)
- ・教員の長時間労働の一因に部活動指導がある。保護者の間には、部活動指導は教員に担ってほしいという思いが強くなり、外部指導者に任せるのは困難であると感じている。(中間取りまとめp. 52)
- ・部活動指導については、外部指導者にすべてを任せるのではなく、教員が1人で抱え込むのでもなく、外部指導者と教員がともに、1つの目標を持って部活動指導に取り組むことが必要である。(中間取りまとめp. 52)
- ・教員の負担軽減策を考えた場合、何かあれば学校に任せようとする保護者の意識を変えることが必要である。「とくしま親なびげーたー」等の活動を推進し、各家庭が家庭教育に自主的に取り組む環境を整備する必要がある。(中間取りまとめp. 56)
- ・金銭教育については、消費者教育の一環として取り組むことを明記していただいた。しかし、この文章は、消費者トラブルを回避するために金銭・金融等に関して知ることが重要であると読むことができ、守りに重きが置かれている。守りは重要だが、一方で、新しい金融商品は利活用することにより強みになる。金銭・金融等に関する知識は生きる力になるので、そうした観点からの表現を盛り込んでいただきたい。  
(中間取りまとめp. 32, 59)

### (3) 重点項目Ⅲ グローバル社会で活躍！ 徳島から世界への扉をひらく教育の推進

- ・「徳島発、世界を体感できる環境づくり」は、「英語力の向上」「生きた英語に触れる機会の創出」など、英語圏を重視した取組が中心である。現在、本県では、ドイツや台湾の高校とも交流していると承知している。英語圏だけでなく、幅広い国々との交流、文化に触れることは重要であるので、ドイツや東南アジア等の国や地域との交流について記載するべきではないか。(中間取りまとめp. 66)

### (4) その他

- ・「徳島ならでは」の振興計画になっていると感じる。その側面をより強固なものとするため、巻末の用語解説に「デュアルスクール」「エシカル消費」「防災士」「認知症サポーター」を付け加えていただきたい。

